

地区名	瑞浪（山田）地区	番号	1
タイトル	新病院の医師確保について		
ご意見の内容			
<p>政府は医学部の定員を増やしてない。市長選の際に行われた公開討論会の際に市長より医師は確保するとお話であったが、新しい病院に医師が本当に確保できるのかが非常に心配である。</p>			
市長の回答	担当課	健康づくり課	
<p>医師の確保は容易ではありませんが確保できるよう努めています。 現在、国は医学部の定員を増やす閣議決定をしており、医学部の定員は増えています。 しかし、医師不足が深刻な地域に同じような病院があっては医師が分散し、病院の機能が維持できない恐れもあり、東濃厚生病院と土岐市立総合病院を統合するよう進めてきました。 病院統合により、産婦人科や脳神経外科、小児科、口腔外科など東濃厚生病院にはいなかった専門医を新たに確保します。 また、指定管理者として新病院を運営、経営するJA岐阜厚生連の責任において、名古屋大学医学部、岐阜大学医学部、愛知医科大学医学部の医局に働きかけ、新病院の医師確保を進めていただいています。私も土岐市長もそれに同行するなどし、医師確保に努めています。 産婦人科医につきましては、1人確保することができました。その方は、現在、関市のJA岐阜厚生連中濃病院にて産婦人科医として働きながら、新病院の建設に携わっていただいています。</p>			

地区名	瑞浪（山田）地区	番号	2
タイトル	市長と語る会の内容について		
ご意見の内容			
<p>周辺地区の市長と語る会の参加者に感想を伺ったところ、市長の話が非常に長く、1時間30分という限られた時間の中で市長が40～50分話しをされると質問できる時間が短い。市長と語る会ではなく、市長が語る会ではないか。質を変更する必要がある。</p>			
市長の回答	担当課	企画政策課	
<p>今回の市長と語る会については、説明を短くし、多くの方の意見を伺えるよう心掛けています。</p> <p>わかりやすく説明するためには、詳しく話しをしなければならないと思い、多少長くなってしまっているのだと思います。</p> <p>今回、どこの会場にも多くの方に来ていただきました。例年、道路を修繕して欲しいなどの要望が多くありましたが、今回の市長と語る会では、病院の統合、駅周辺再開発、道の駅、広域連携について多くの意見を伺うことができました。</p> <p>これは、今年7月の市長選挙が瑞浪市について考えるきっかけとなり、やはり選挙は行われるべきであると改めて感じました。</p>			

地区名	瑞浪（山田）地区	番号	3
タイトル	市長と語る会の開催方法および子どもに対する施策について		
ご意見の内容			
<p>水野市長が市長と語る会を始めてから毎回参加させていただいている。市長と語る会の参加者を見ても年配の方が多く、子育て世代の若い方が出席できず、そういった方の意見は本当に市政に反映出来ているのでしょうか。</p> <p>私の仕事上、お母さん方の話を聞いているが、現実には相当危機的である。子育てに悩み、自殺されたり、子どもに対して虐待をするなどの案件が増えてきている。そのように困っている方に対して、何とかしていかねばならないと思う。</p> <p>瑞浪市の育児事情をみると、親が土曜日1日仕事してるのにも関わらず、13時までしか預けられなかったり、「一時預かり保育」についても、市民以外は対応いただけないため、里帰りし出産した方は利用することができない。</p> <p>10年先のことを考え、学校に登校できない子どもを何とかするには、私は、食を大切にしなければならないと考えている。食は心と身体をつないでいるため、市の給食にもオーガニック食材を使って欲しいと要望している。健康な子どもを育てるのが大人の使命である。まず身近な問題を解決し、大きな事業を進めていただき、よりよい瑞浪になると良い。</p>			
市長の回答	担当課	企画政策課 子育て支援課	
<p>市長と語る会については、行政は市役所の中だけで仕事をしてはいけないと思い、各地に出向き対面でお話する活動を続けています。市長と語る会の開催時間帯が夜となっており、若い方が出席できていないことが課題であることは承知しています。現在市内に、3つの高校と1つの大学がありますので、学生と語る会を開催し、若者の意見を伺っています。毎年、様々な団体から市長と語る会を行いたいと要望を受け、50箇所くらいでやっていますので、要望があれば土日でも伺いますのでご連絡ください。</p> <p>瑞浪北中学校の統合については、日吉町在住の小学生を養育するお母さん方との市長と語る会がきっかけで実現しました。その市長と語る会で「自分の子どもを日吉中学校ではなく瑞陵中学校に通わせたい」といった意見を多く耳にしました。その意見を教育委員会と共有し、学区制審議会を立ち上げました。審議会からの答申内容は、「小学校は各地域に当分残すべき、中学校はクラス替えができ、部活動が選べることができる環境を目指し統合を進めるべき」でしたので、統合を進めてきました。</p> <p>現在、子育てについては、国も大きく動いており、子どもの数を増やそうという施策を打ち出しています。市としてはそうした国の動向を注視し、県と連携しながら進めていきます。</p> <p>土曜日の保育に関しましては、市内私立園で365日対応ができる園がありますので、そちらの園をご案内することで対応しています。また、園に通っているお子さんに関しても、午後のみ「一時預かり保育」をご利用いただくことも可能となっています。</p> <p>なお、「一時預かり保育」の市外の方の利用については、可能となっています。しかしながら、補助金として市の税金等が投入されていますので、瑞浪市民の利用を優先していただくこととしています。また、市外の方の利用実績は、補助金の実績報告書の利用人数としては算入できないことになっています。このような事情をご理解いただくよう、お願いいたします。</p> <p>瑞浪市の予算は約160億円で、約800の事業をやっていきますので、限られた予算をバランスよく使わせていただきます。</p>			

地区名	瑞浪（山田）地区	番号	4
タイトル	山田町内の歩道について		
ご意見の内容			
<p>運転免許証の返納が話題になっているが、自分に置き換えたとき、物を買っていくのにバスに乗って行くわけにはいかない。最近よく見かけるスクーターで行こうと思っても山田地区の歩道では安心して走行できないと考える。子どもたちの通学路なので改善していただきたい。</p>			
市長の回答	担当課	土木課	
<p>県道上山田寺河戸線の歩道整備については、地元の市議からも要望を受けています。一度にはできないため、北側からガードパイプを設置するなど整備を進めると承知しています。現時点で大幅に改良することはできないと伺っていますが、安全に通行できるよう整備を進めていただいていることをご了承いただきたい。</p>			

地区名	瑞浪（山田）地区	番号	5
タイトル	ごみの最終処分場について		
ご意見の内容			
<p>ごみ焼却場については、人口5万を超える自治体しか国から補助金が出ないと伺った。ごみ焼却場は、3市で現在協議を行っているので、3市のどこかに作られればよいと思う。</p> <p>しかし、焼却することで出る灰の埋め立てには広大な土地が必要であると考え。今後は、不燃物処理を含め検討する必要があるのではないか。</p>			
市長の回答	担当課	クリーンセンター	
<p>灰をどう処分するかにつきまして、クリーンセンターでは酸素式熱分解直接熔融炉を使用して可燃ごみの処理を行っています。本熔融炉は、ごみ持つエネルギーと酸素を使って高温融解することにより、ストーカ炉と比較して灰及びスラグの発生量を少なくしています。</p> <p>また、スラグは不燃物最終処分場において埋立に使用する覆土材として再利用しています。</p> <p>クリーンセンターは、平成14年7月に運転を開始し始めて21年が経過しています。多治見市、土岐市及び瑞浪市の3市で統合する時期を合わせるため、この間に、耐震補強工事を実施し、30年以上使用できるよう延命を図ってきました。現在においても3市で焼却施設の統合に向けた協議を進めており、現在、令和19年の運転開始を見込んでいます。</p> <p>当施設についても、新施設運転開始に向けた長寿命化を計画的に行ってまいります。</p> <p>なお、不燃物最終処分場につきましては、3市での統合は行いませんのでご承知おきください。</p>			

地区名	瑞浪（山田）地区	番号	6
タイトル	地区公民館について		
ご意見の内容			
<p>瑞浪市地区、土岐地区、明世地区には地区公民館がないのはなぜか。 文化センターの稼働率が悪いのは貸館業務しかしていないからであると考える。 他市では、地区公民館が主体となって様々なイベント等を企画しているが、瑞浪市にはその機能がない。文化センターにそういった企画のできる職員がいれば稼働率があがるのではないか。</p>			
市長の回答	担当課	中央公民館	
<p>釜戸、日吉、大湫、陶、稲津地区には地区公民館があり、瑞浪、土岐、明世地区は中央公民館を地区公民館としています。中央公民館に公民館長もいますし、職員もいます。もっと創意工夫することができれば、市民の皆さまに利用していただければと考えています。</p>			

地区名	瑞浪（山田）地区	番号	7
タイトル	自治会組織への加入および加入していない方のごみの捨て方について		
ご意見の内容			
<p>自治会組織に入っていない方が多く、また、瑞浪市の広報を読んでいない方も多いため、ルールに従ったごみの捨て方ができない人が多い。</p>			
市長の回答	担当課	市民協働課 環境課	
<p>自治会への加入については、課題であると感じております。瑞浪市に転入届が提出された際の加入案内や自治会活動の意義を広報し、加入を促進をしています。しかしながら加入を強制することはできませんのでご了承ください。</p> <p>ごみの捨て方の問題につきましても、外国人をはじめ瑞浪市に転入いただいた方に瑞浪市でのごみ捨てルールを周知するため、ごみ捨てマニュアルを4か国語で作成して配布しております。</p>			

地区名	瑞浪（山田）地区	番号	8
タイトル	道路整備の際に設置する街路樹について		
ご意見の内容			
<p>道路を新しく整備するとき街路樹等は必要ない。植えてられても管理は地元でしなければならないため、管理が大変である。</p>			
市長の回答	担当課	土木課	
<p>街路樹については、景観を良くするために実施しています。確かに草刈や枯れ木等の掃除など管理が必要であり、また運転する際に視界を妨げる原因となっています。新しい道路を作るときには街路樹が必要か考えなければならないと思います。しかしながら、現在あるものを撤去することは難しいのでご了承ください。</p>			